

令和4年度

(令和4年4月～令和4年9月実施分)

監査結果に基づき町長等が講じた措置

令和4年12月

奥多摩町代表監査委員 松永健太郎

奥多摩町議会選出監査委員 澤本幹男

令和4年度実施分「監査結果と措置状況等の一覧」

1.例月出納検査

令和4年9月末現在

件名 金額 所管課 監査実施日	監査結果(指摘、意見等)	措置状況等及び今後の対応・スケジュール (どのような改善をいつから行うのか、対応不可の場合はその理由)	評価
			(○・△・×)
			理由
旧レイクサイド奥多摩建物管理 補助業務委託料の内容 50,400円 企画財政課 令和4年4月27日	「旧レイクサイド奥多摩」については、町が平成21年に取得し、10年以上継続的に管理費用が支出されている。文化財関係の所蔵等や町備品の仮置き場として活用されているが、資産の有効活用や在り方等について検討すべきではないか。	当該建物は、昭和40年代に建設されたもので、これまでも、利活用についての問い合わせに対し相談、施設案内を行うなど対応した。しかし、実際に内部を見ていただくと階段のみでエレベーターがなく、通路も狭い、旧耐震であること、老朽化が進む施設であることなどから、各種法令に適合させるまでには費用と時間が掛かるとの判断から最終的には有効活用は難しい状況である。なお、敷地内に携帯電話基地局があり、年間36万円の収入があるが、今後も活用方法等の検討を継続していく。	△ あれだけの素晴らしいロケーションにある施設を備品置き場や年間36万円の収入源だけに留めてしまうのは勿体ない。措置状況として「活用方法等の検討を継続していく」とあるが、例えば有効活用についての検討委員会を設置する等して、定期的に議論の場を設けていってはどうか。
出納月計表中の下水道事業特別会計への1千万円の流用 10,000,000円 環境整備課 令和4年9月22日	出納月計表中、下水道事業特別会計において、確認不足により会計残高の予算に不足が生じるため、一般会計から1千万円の予算が流用されていた。チェックはどのようにして行われていたのか。今後の再発防止策と合わせて次回報告願いたい。	一般会計から下水道特別会計への繰入処理については、昨年度決算では571,360,000円の繰入を行っている。毎年5億円以上の繰入が生じることにより年度当初の過度な歳出を抑制するため年4回程度に分散して繰入処理を行っている。毎年9月と3月には起債償還金の返済月となり億単位の支払いが生じるため、償還月の前月に繰入処理を終えるように努めていたが失念により令和3年度の1月に2千万円、今回指摘のあった8月に1千万円を繰替運用する状況となってしまった。この時点でのチェック体制は、一職員の裁量に任せておりチェック体制は機能していなかった。 8月支払いの不足を会計管理者から指摘を受け、係内で再発防止策について話し合った結果、月初めの環境係定例会時において5人の目でチェックすることにした。既に9月1日から実施しているが「会計別収支現計表」及び「過去3年間の収支支払い状況」を作成して残高不足が生じないよう係内でチェックを行っている。	○

